

【高等学校用】

令和8年度学校評価 計画

| | |
|-----|--------------|
| 学校名 | 佐賀県立鳥栖商業高等学校 |
|-----|--------------|

| | |
|------------------|--|
| 1 前年度 評価結果の概要 | <ul style="list-style-type: none"> 最終評価及び学校関係者評価では、すべての項目でB以上となり、目標をおおむね達成できた。 生徒が落ち着いて学校生活を送り、学習や部活動に力を注ぐことができるような教育活動の実践ができた。 学習及び諸活動での地域との連携を図る。 進路達成に向けた様々な数値を上げるとともに、中学生やその保護者及び中学校教職員の本校への理解度を高めるような取組を模索していく。 |
|------------------|--|

| | |
|--------------------------------|---|
| 2 SAGA スクール・ミッション 学校教育目標 | <ul style="list-style-type: none"> 〇流通のクロスポイントである鳥栖市で、ビジネスに関する専門的な知識と技能を習得し、地域に貢献する、創造力豊かな人材を育成すること。 〇習得した知識や技能を生かし、地域の行政や企業等と様々な協働しながら、学校・地域双方の活性化に寄与すること。 |
|--------------------------------|---|

| | | | | | |
|-------------|--|--|---|------------|--|
| 3 スクール・ポリシー | アドミッション・ポリシー | カリキュラム・ポリシー | グラデュエーション・ポリシー | 4 本年度の重点目標 | <p>「なりたい自分を超えていく」をスローガンに</p> <p>(1) 自ら考え、学び、行動する力の育成</p> <p>(2) 他者を大切にする心の教育</p> <p>(3) 安心安全な学校作り</p> <p>(4) 地域連携の促進、教育活動の充実</p> |
| | 商業に関する専門的な知識や技能習得への意識が高く、将来の進路目標を実現するために意欲的に学習に取り組み、部活動や学校行事など、幅広い分野の活動に積極的に取り組もうとする生徒 | <ul style="list-style-type: none"> 〇教科等横断的教育課程 新しい時代に必要な資質能力を教科横断的に育成する。 〇深い学びの実現 主体的・対話的な深い学びを通して、思考力、判断力、表現力を育成する。 〇社会に関わった教育課程 社会・地域の課題を教育課程と連携させる。 〇キャリア教育の充実 就業に関わる体験的な学習を通して、望ましい勤労観、職業観を育成する。 〇PDCAサイクルの確立 生徒の姿や地域の現状等に基づき教育課程を編成、実施、評価して | <ul style="list-style-type: none"> 〇表現力 -思いを伝える力- 自分の気持ちや考えを表現・発信し、わかりやすく相手に伝える力 〇課題解決力 -未来につなげる力- 自ら課題を見つけ、対応策を考え、計画的に解決しようとする力 〇行動力 -踏み出す力- 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組もうとする力 | | |

5 重点取組内容・成果指標 最終評価

| (1) 共通評価項目 | | | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | |
|--------------------|--|---|---|-------------|------|---------|-------|
| 評価項目 | 重点取組 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 | 達成度 (評価) | 実施結果 | 評価 | 意見や提言 |
| ●学力の向上 | 〇言語活動を充実させ、主体的な学びを重視した授業を推進 〇基礎学力の向上 | 〇「学んだ事柄を言葉で説明することで、学力の向上や話し合い、発表への意欲が高まった」と答えた生徒80%以上 〇漢字テスト平均正答率80%以上 | ・各教科等で、授業で学んだ事柄を他者に説明する場面を設ける。 ・各種大会やコンテスト等の参加を呼びかける。 ・漢字テスト、朝読書を実施する。 ・インターンシップ等発表会、課題研究発表会を実施する。 | | | | |
| ●心の教育 | ●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 | 〇学校アンケートなどや生徒会活動で実施する取組内容に関する回答に「できている」との回答を90%以上 | ・人権教育講話や各安全教育講話および定期的な全校集会の折に命の大切さや安全や他者を思いやる心の醸成を図る。 ・校内に限定せず校外における活動を実施し、正しい倫理観や豊かな感性の育成を図る。 | | | | |
| | ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 | 〇いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていますと回答した教員90%以上 | ・いじめの認知をしたら、迅速(3日以内)に対策委員会を開催する。 ・いじめの対応についての研修を開く。 | | | | |
| ●健康・体づくり | ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 | ●「健康に良い食事をしている」生徒95%以上 | ・郷土学習資料「佐賀語」を活用した授業を行う。 ・「佐賀を誇りに思う講演会」を実施する。卒業生講話等を活用した授業を行う。 ・地元企業の魅力を伝えるキャリア教育、就職活動の支援を行う。 ・商業科目「課題研究」で地域と連携した取り組みを行う。 | | | | |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 | ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1当たりの年次休暇の取得日数14日以上 | ・外部講師を招き食育に関する講習会を実施する。 | | | | |
| ●特別支援教育の充実 | 〇特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上 | 〇「配慮を要する生徒の特性理解に努めた」と回答した教員90%以上 | ・業務の効率化、行事の見直しを行う。 ・定期考査中や長期休業中の休暇取得を推進する。 | | | | |
| | | | ・配慮が必要な生徒の情報を会議等で共有する。 ・講師を招聘し、早期に職員研修を行う。 | | | | |

| (2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目 | | | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | |
|--|---|---|--|-------------|------|---------|-------|
| 評価項目 | 重点取組内容 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 | 達成度 (評価) | 実施結果 | 評価 | 意見や提言 |
| 〇自ら考え、行動する力の育成 | 〇生徒の自主・自立の精神を育む | 〇アンケートで「自主性・主体性」に関して肯定的に回答した生徒が80%以上 | ・インターンシップやオープンキャンパス、修学旅行フィールドワークの計画・実践等を通して、自主性・主体性を高める。 | | | | |
| 〇他者を大切にする心の育成 〇安全安心な学校づくり | 〇心身ともに健康な生徒、および安全安心な学校づくり | (保健相談) 〇健康に関するアンケートで「心身ともに健康である」と回答する生徒85%以上 (生徒指導) 〇生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。 〇校内における盗難や金銭トラブルを0(ゼロ)にする。 | (保健相談) ・保健だよりを用いて、心と体の健康について情報発信をする。 ・心身の健康に関する掲示物を作成し、保健室や教室に掲示する。 (生徒指導) ・適宜、校内外の安全に関する啓発活動を行うとともに外部講師の招聘による講演会の実施および生徒会との連携を行って、安全や安心に関する意識を高める。 | | | | |
| ★唯一無二の誇り高き学校づくり 〇地域連携の促進等による教育活動の充実 | ★実践的・体験的な活動の充実と県内外への情報発信 〇地域の人材・資源を積極的に活用した教育活動の展開 | ★「自分の学校を中学生に勧めることができる」と回答した生徒80%以上、教職員の95%以上 ★「地域課題の解決に向け主体的に取り組んでいる」と答える生徒(3年生)95%以上 ★県外からの入学者数3人以上。 〇生徒・保護者が「希望する進路が実現できた」と回答した生徒95%以上 | ・「課題研究」で学科・コースの専門分野を生かして地域や企業と連携し、調査研究や作品制作などを主体的に行う。 ・地域経済で活躍することを想定して地域の課題について調査・研究し解決する取り組みを実施する。 ・地元企業への訪問や情報交換を行う。 ・四年制大学等進学希望者に進学補習を実施する。 ・地元中学校での出前授業や商業に関する講演会を実施する。 | | | | |

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり